

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ヨシックスホールディングス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL https://yossix.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室室長 (氏名)松岡 龍司 (TEL)052(932)8431
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,264	32.3	1,082	—	1,220	9.0	804	5.6
2023年3月期第2四半期	7,757	228.0	94	—	1,119	—	762	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 805百万円(5.6%) 2023年3月期第2四半期 762百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	77.84	77.79
2023年3月期第2四半期	75.17	74.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	13,936	9,521	68.3	918.98
2023年3月期	12,060	8,789	72.9	851.44

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,521百万円 2023年3月期 8,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2024年3月期	—	12.00			
2024年3月期(予想)			—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,482	19.9	1,580	123.9	1,825	△0.5	1,198	24.6	115.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	10,361,000株	2023年3月期	10,323,200株
2024年3月期2Q	396株	2023年3月期	351株
2024年3月期2Q	10,340,678株	2023年3月期2Q	10,143,045株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、個人消費の持ち直し及びインバウンド需要の回復が見られ、社会経済活動が活発化いたしました。その一方で、長期化するロシアのウクライナ侵攻による燃料価格高騰、円安による物価の上昇があり、依然として先行きの不安定な状況が続いております。外食業界におきましても同様で、国内消費が徐々に回復しつつありましたが、燃料価格高騰や物価高による食材価格の上昇の影響を受けており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「や台ずし」を中心に新規出店及び業態転換を実施いたしました。新エリアの開拓としましては、長野県1号店として2023年4月にや台ずし松本駅前町を出店いたしました。また新業態としましては、手仕込み餃子を売りにした「ひとくち餃子の頂」を奈良県奈良市にオープンいたしました。当業態は主力業態である「や台ずし」の近隣にも出店できる業態であり、近年の需要に合わせ、餃子の店頭販売を実施しており、テイクアウトにも注力可能な業態として開発いたしました。更に、鮮魚と天ぶらの海鮮大衆盛場「あいよ！」を埼玉県所沢市にオープンいたしました。お酒を楽しまれる方でも、そうでない方も一緒に皆が楽しくワイワイ盛り上がる場所として「大衆酒場」ではなく「大衆盛場」を目指す業態として開発いたしました。

飲食事業の主力業態である「や台ずし」業態は新規出店9店舗を実施し、店舗数が311店舗（フランチャイズ含む）、総店舗数の92.0%を占め、当業態の売上高は9,458百万円となりました。また、均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、店舗数が16店舗、総店舗数の4.7%を占め、当業態の売上高は343百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店10店舗、退店4店舗を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は338店舗（フランチャイズ含む）となりました。その上で、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,264百万円（前年同期比32.3%増）、営業利益は1,082百万円（前年同期は営業利益94百万円）、経常利益は1,220百万円（前年同期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は804百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

一方、建装事業につきましてはグループ会社の強みとして最大限活用し、店舗展開する際のインシヤルコストの徹底的な抑制、投資回収の早期実現等の達成に大きく寄与しました。

なお、当社はセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は13,936百万円、負債は4,415百万円、純資産は9,521百万円であり、自己資本比率は68.3%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ1,555百万円増加し、10,395百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,554百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ319百万円増加し、3,540百万円となりました。これは主に建物及び構築物が103百万円、工具、器具及び備品が110百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加し、3,687百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が559百万円、未払法人税等が378百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、727百万円となりました。これは主に長期借入金が10百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ731百万円増加し、9,521百万円となりました。これは主に利益剰余金が681百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,194百万円増加し、7,339百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、2,202百万円（前年同期は470百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,255百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、825百万円（前年同期は112百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の増減額360百万円、固定資産の取得による支出400百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、183百万円（前年同期は765百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額123百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年8月10日に公表しました2024年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,844,649	9,399,074
売掛金	428,642	381,469
原材料及び貯蔵品	174,846	184,340
その他	391,545	430,510
流動資産合計	8,839,683	10,395,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,819,881	1,923,871
その他	513,222	632,760
有形固定資産合計	2,333,103	2,556,631
無形固定資産	3,557	3,511
投資その他の資産	884,562	980,778
固定資産合計	3,221,224	3,540,921
資産合計	12,060,907	13,936,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670,320	1,229,971
1年内返済予定の長期借入金	124,992	72,944
未払法人税等	104,401	483,004
その他	1,629,929	1,901,401
流動負債合計	2,529,643	3,687,321
固定負債		
長期借入金	10,448	-
役員退職慰労引当金	517,368	530,494
その他	214,201	197,324
固定負債合計	742,017	727,818
負債合計	3,271,660	4,415,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,084	361,315
資本剰余金	364,189	389,420
利益剰余金	8,088,460	8,769,508
自己株式	△712	△819
株主資本合計	8,788,021	9,519,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,226	1,752
その他の包括利益累計額合計	1,226	1,752
純資産合計	8,789,247	9,521,176
負債純資産合計	12,060,907	13,936,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,757,280	10,264,335
売上原価	2,789,948	3,422,903
売上総利益	4,967,332	6,841,432
販売費及び一般管理費	4,872,873	5,758,477
営業利益	94,458	1,082,954
営業外収益		
協賛金収入	110,051	126,848
雇用調整助成金	179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	754,388	-
その他	14,962	11,314
営業外収益合計	1,058,911	138,162
営業外費用		
支払利息	97	5
現金過不足	-	880
自己株式取得費用	21,271	-
自己株式処分費用	12,375	-
その他	238	15
営業外費用合計	33,982	901
経常利益	1,119,387	1,220,215
特別利益		
固定資産売却益	1,999	2,319
受取補償金	-	32,783
特別利益合計	1,999	35,102
特別損失		
固定資産除却損	870	0
減損損失	21,612	-
その他	2,400	-
特別損失合計	24,883	0
税金等調整前四半期純利益	1,096,504	1,255,318
法人税、住民税及び事業税	369,763	481,830
法人税等調整額	△35,670	△31,433
法人税等合計	334,093	450,396
四半期純利益	762,410	804,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	762,410	804,922

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	762,410	804,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	526
その他の包括利益合計	192	526
四半期包括利益	762,603	805,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762,603	805,448

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,096,504	1,255,318
減価償却費	154,529	162,060
減損損失	21,612	-
のれん償却額	23,000	-
受取利息及び受取配当金	△3,883	△1,363
支払利息	97	5
自己株式取得費用	21,271	-
自己株式処分費用	12,375	-
固定資産売却益	△1,999	△2,319
固定資産除却損	870	0
受取補償金	-	△32,783
雇用調整助成金	△179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	△754,388	-
売上債権の増減額(△は増加)	△96,483	86,602
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32,629	△47,510
仕入債務の増減額(△は減少)	205,599	506,360
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,212	13,126
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,747	17,053
その他	10,888	286,090
小計	439,319	2,242,641
利息及び配当金の受取額	3,883	1,363
利息の支払額	△97	△5
法人税等の支払額	△906,957	△129,462
法人税等の還付額	-	55,621
補償金の受取額	-	32,783
雇用調整助成金の受取額	179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の受取額	754,388	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,044	2,202,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	-	△360,000
投資有価証券の売却による収入	50,000	-
固定資産の取得による支出	△158,957	△400,985
固定資産の売却による収入	2,000	2,319
差入保証金の差入による支出	△13,410	△18,992
差入保証金の回収による収入	10,995	7,628
貸付けによる支出	-	△44,000
その他	△3,496	△11,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,868	△825,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△129,164	△62,496
株式の発行による収入	-	3,382
自己株式の取得による支出	△1,292,771	△106
自己株式の売却による収入	830,458	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△50,000	-
配当金の支払額	△123,833	△123,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△765,310	△183,020
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△408,134	1,194,424
現金及び現金同等物の期首残高	5,740,084	6,144,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,331,950	7,339,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。